

内房～外房

定置網漁業(雇用型)

漁業の概要

富津市～鴨川市にかけての沿岸では、定置網漁業が盛んに営まれており、その多くは漁協が経営しています。本漁業の漁獲物は生鮮のほか、地元水産加工業者の加工原料や観光用などとして使われ、地域の基幹産業として位置付けられています。

定置網漁業は、海岸から沖に向かって垣網という魚の進路を遮る網と囲い網と呼ばれる魚を送り込ませる網を張って漁獲されており、海流に乗って接岸してくる多種多様な魚介類が漁獲されています。

周年操業が行われていますが、資源管理の取組で夏～秋季などに1か月程度の休漁期間を設けている経営体が多くなっています。



定置網漁業の操業

対象魚種	ブリ類、サバ類、イワシ類、アジ類など
漁業地区	富津市天羽地区～鴨川市
漁船の規模	15トン未満船4～5隻
乗組員数	15～30人
年間労働日数	230～260日(陸上作業含む)
技術習得期間	1年程度

漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

月給	18～22万円+歩合
賞与	有り(経営体により異なる)
備考	試用期間は月給が異なる場合有り

※漁師.jp求人情報及び漁業就業支援フェア資料より引用
※年、資源状況等によって変動することがあります。

年間操業計画

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
操業	→								←	→			
休漁・整備									↔				

1日の操業スケジュール例

▼4月～9月 ※それ以外の月は5:00～開始

4:00～	集合・準備・出港
5:00～7:00	漁場着・操業(網起こし)
7:00～9:00	操業(大ダモで漁獲物の回収)
9:00～10:00	帰港・水揚作業
11:00～12:00	片付け・メンテナンス・解散

就業と漁労作業

内房から外房にかけての中心的な雇用型漁業で、労働時間も比較的短いことから未経験者でも始めやすい漁業です。乗組員として網起こしや漁獲物の回収、水揚作業などを皆で手分けして行います。

就業後は、技術と経験を積み、船頭へのステップアップを目指すこととなります。また、漁協の組合員となり海士漁業を行う人や、漁船を取得して独立し、小型漁船漁業を行う例もあります。